

平成 27 年度 第 1 回 水工学委員会および幹事会 議事録 (案)

日 時：平成 27 年 7 月 30 日 (木)

場 所：土木学会 2 階講堂

水工学論文賞選考小委員会 (水工学論文集編集小委員会) 兼 幹事会 12:00~13:00

水工学委員会 13:30~16:30

出席者：朝位孝二、浅沼順、天野光歩、石塚正秀、今村正裕、入江政安、岩見洋一、大石哲、大槻英樹、川口智哉、川越清樹、駒井克昭、里深好文、清水義彦、鈴木正人、関根正人、竹林洋史、竹原幸生、武若聡、立川康人、田中規夫、知花武佳、戸田祐嗣、富永晃宏、中北英一 (委員長)、中嶋規行、中津川誠、中山恵介 (幹事長)、原田守博、藤田一郎、松富英夫、宮本仁志、矢野真一郎 (50 音順、敬称略)

《報告事項》

1. 水工学委員会構成 資料 1、資料 2 (1 頁)

2. 水工学に関する夏期研修会 (8 月 24 日(月)、25 日(火)、横浜国立大学) 資料 3 (5 頁)
今村委員から準備状況が説明された。8 月 17 日が申し込み締め切りである。定員までまだ余裕があるため、学生等の参加が要請された。

3. 水シンポジウム福井 (8 月 27 日(木)、28 日(金)、アオッサ福井県民ホール) 資料 4 (13 頁)
幹事長から準備状況が説明された。「水シンポジウム in ふくい」のポスターおよびホームページが紹介された。今年度は土木学会水工学委員会のポスター展示スペースが開設されており、過去のシンポジウムポスターや各部会の紹介ポスターを展示することが提案された。幹事長が対応する。

4. 全国大会研究討論会 (岡山大学)
9 月 16 日(水) 14:40-16:40 【研 09】 水理水文解析のための汎用プラットフォームによる水工技術の社会実装、環境理工学部棟 104 講義室
次項中の関連委員会からの報告にて、ご紹介いただいた。

5. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告及び活動計画 資料 5 (19 頁)
部会：基礎水理部会、水文部会、環境水理部会、河川部会
常置小委員会：水害対策、流量観測高度化、地球環境水理学、ISO/TC113
出版関連：水理公式集編集小委員会、論文編集委員会
関連委員会：河川懇談会、海岸、CommonMP、流域管理と地域計画の連携、環境システム、沿環連、地球環境、ISO
部会長、小委員長および関連委員から各部会、各小委員会、関連委員会の活動報告と今年度予定に関する報告があった。詳細は資料の通りである。

6. 平成 27 年度調査研究拡充支援金の配分について 資料 6 (45 頁)

幹事長から A ランクの活動評価であり、例年とほぼ同額の調査研究拡充支援金が確保されることが報告された。委員長から各委員の精力的な活動に対して謝意が述べられた。土木学会の中でも最上位に近い評価であったことが報告された。

7. JSCE2015 のアクションプランと年次計画について 資料 7 (49 頁)

幹事長から JSCE2015 に基づくアクションプランについて説明があった。詳細は資料の通りである。

8. IAHR-APD2016 について 資料 8 (52 頁)

田中 (規) 委員から、IAHR-APD2016 に関する紹介が行われた。

9. 土木学会 出版企画 (平成 28 年度) の募集について 資料 9 (53 頁)

出版企画に関して、委員から意見を募集することとなった。

《協議事項》

1. 平成 27 年度の年間スケジュールについて 資料 1 0 (56 頁)

承認された。

2. 平成 27 年度第 60 回水工学講演会の開催について (東北工業大学) 資料 1 1 (57 頁)

幹事長から 2016 年 3 月 14-16 日の予定で準備が進められていることが報告された。

3. 平成 28 年度第 61 回水工学講演会の開催について (九州大学案) 資料 1 2 (61 頁)

九州大学のご厚意により、2017 年の 3 月 15 日-17 日開催予定で開催していただけることとなり承認された。矢野委員から詳細が説明された。申し送り事項として、コンサルタントの方々の参加者数と開催時期に関して検討すべきではないかとの意見が与えられた。

4. 平成 28 年度水工学に関する夏期研修会について (水工学委員会担当, 秋田大学案) 資料 1 3 (66 頁)

水工学委員会が主担当であり、秋田大学の松富委員のご担当、秋田県での開催が承認された。

5. 平成 28 年度水シンポジウムについて (山口県案) 資料 1 4 (67 頁)

委員長より、山口県での開催が正式に決まったことが報告され、承認された。なお、分科会開催は水文部会が担当となる。

6. 「International Symposium on Ecohydraulics (ISE) 2018」東京について 資料 1 5 (68 頁)

田中 (規) 委員から ISE2018 東京開催について説明があり、水工学委員会が共催として加わること

が可能である点が承認された。

7. 学術文化事業寄付（指定型）について 資料16（69頁）
戸田委員から、河川技術論文賞の創設に関する報告が行われ、今後の活動予定が承認された。
8. 水工学委員会の英語版ホームページ作成について 資料17（70頁）
朝位 HP 担当委員から、世界に対して日本から水工学分野の情報発信等を目的とし、英語版の水工学 HP を作成する案が提案された。今後、検討を進めることが承認された。
9. 河川・海岸の土砂水理に関するワークショップについて 資料18（73頁）
中北委員長および関根委員から紹介された。水工学委員会として共催して欲しいとの依頼があり、協議事項として審議し、共催が承認された。
10. 水工学論文集編集作業について 資料19（78頁）
編集小委員会幹事長より日程および予算案が示され承認された。国際セッション、著作権、フォーマットに関する検討事項が報告され、継続して検討することとなった。
11. 平成27年度水工学論文賞および奨励賞候補論文について
編集小委員会幹事長より、水工学論文賞選考小委員会での論文賞候補論文（案）および論文奨励賞候補者（案）の検討結果が報告された。水工学論文賞選考小委員会での論文賞候補論文（案）および論文奨励賞候補者（案）が承認された。
12. その他
なし。